

なかつか 亮



戸越・豊町・西大井・大井 住宅街に巨大道路と沿道開発

町会を分断 地域が壊れる

29号線沿線の姿 「品川区まちづくりプラン案」より

都市計画道路の整備に合わせ、沿道建築物の不感化を促進



街路街の整備や無電柱化により、安全で快適な歩行空間を確保

沿道では統一感のある街並みを形成

「道路のない住宅街に幅20メートルもの道路を新たに整備。さらに沿道20〜30メートルで高層ビル化。そこに住む人の暮らした地域のコミュニティが壊れることを品川区はどう考えるのか」……16日の区議会総括質問で共産党は、左の都作成イメージ図を示し区の計画をただしました。区は「住民は絆が強いから、これぐらいのものでは壊れないと信じている」と答弁。計画を進める考えを改めて強調しました。

左図は品川区まちづくりマスタープラン素案85ページで紹介。資料は品川区ホームページで確認できます。

10月2日より開催された決算特別委員会は16日、各会派の総括質問が開催されました。この日の質疑は品川ケーブルテレビで放送され、区議会ホームページでも録画配信されます。共産党からは「いじめ克服」「都市計画道路問題」を取り上げました。

地域が壊れる

道路問題について、上のパネルを示すと議場が静まりました。このイメージ図は都市計画道路29号線

など道路整備にあわせた沿道まちづくりについて、東京都が作成し、区が「品川区まちづくりマスタープラン素案」に紹介したものです。

共産党は「これでは地域が壊れる。どう考えるのか。道路と沿道開発で街は合計60メートル〜80メートルも分断。29号線計画はやめるべき」と主張。区は「この道路は必要な計画。住民の絆は強いから壊れない。信じている」と答弁しました。裏へ

この計画って本当？

連載中の道路問題ですが、ニュースを讀んだ方から「この計画は本当ですか」「完成はいつか」「きつと進まないよ」など、たくさんの方が寄せられました。ご意見ありがとうございます。疑問に答え、少し解説します。まず29号線ですが、これは都道です。東京都が2020年までに完成を目指すとして、今年6月に発表し、品川区は「完成目指し、東京都を全力で応援する」と説明している計画です。

また31号線は区道で29号線と繋がっている関係から品川区が「29号線と同時期の完成めざす」と説明しています。これらを「推進する」と記しているのが、策定中の「品川区まちづくりマスタープラン」。ここに一面のイメージ図が掲載されました。今後11日10日の区主催「まちづくり講演会」を開催し、概要説明や参加者との質疑応答を実施。翌11日から1ヶ月間のパブリックコメントをはじめ、来年1月決定を目指す考えです。

東京都が11月末にも発表すると説明し、その後、用地取得説明会を開催する考えです。東京都は早ければ来年4月から用地買収を始めたいと話します。

コミュニティー崩れる
道路が存在しない所に、住宅を立ち退かせて整備する都市計画道路と沿道高層ビル。これでは西大井・大井など各町会が分断させられ、街の姿は変貌、地域が大事にしてきたコミュニティを壊します。まちづくりの主役は都知事や区長ではありません。そこで生活する住民です。住民合意のないトツプダウンの計画は中止を。なかつか亮

ご意見ご要望お聞かせ下さい
なかつか亮メール
ryo@nakatsukaryo.net
電話は区議控室へ

防災対策いうが車両火災は想定なし

品川区は、これらの道路計画を「震災時の延焼遮断帯」と、防災上の役割を強調しています。

ところが区は、震災時の車両火災を「想定されていない」、道路の交通量予測も「これから実施する」と区議会で説明しました。首都直下型大震災時における車両火災や日常の交通量も想定せずに、これで防災対策と言えるのでしょうか？防災専門家は「道路上に残った車が火災を更に拡大させる要因になりえる。いわば道路は火の帯」との指摘もあります。



次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

11月16日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231